



紀宝町

議会だより

平成22年12月1日発行（第18号）



龍が舞う！ 井田神社例大祭

議 会 日 誌

平成22年 7月～9月

- | | | | |
|-------|---|-------|--------------------------|
| 7月15日 | 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動（国土交通省）〔16日まで〕 | 25日 | 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） |
| 23日 | 熊野川改修促進期成同盟会理事会・総会（新宮市） | 26日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市） |
| 27日 | 近畿自動車道紀勢線〔熊野市～新宮市間〕建設促進期成同盟会総会（紀宝町） | 9月 1日 | 議会中継調査特別委員会 |
| 28日 | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟要望活動（国土交通省）〔29日まで〕 | 2日 | 教育民生常任委員会 |
| 30日 | 三重県町村議会議長会定期総会（津市） | 3日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町） |
| 8月 2日 | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会定期総会（新宮市） | 6日 | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会臨時総会（新宮市） |
| 9日 | 議会運営委員会、議会中継調査特別委員会 | 10日 | 議会中継調査特別委員会、総務財政常任委員会 |
| 24日 | 紀南病院組合議会（御浜町）
紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会（御浜町） | 15日 | 全員協議会 |
| | | 16日 | 紀宝町交通安全対策協議会 |
| | | 21日 | 議会運営委員会 |
| | | 28日 | 第3回定例会・第1日目 |
| | | 29日 | 第3回定例会・第2日目 |
| | | 30日 | 第3回定例会・第3日目 |

9月定例会 一般質問

(要約)

平成22年第3回紀宝町議会定例会は9月28日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の29日にわたり9人の議員が、諸課題について当局の考え方を質しました。

第3日目の30日に議案審議に入り、平成22年度一般会計補正予算、国民健康保険・老人保健・診療所事業特別会計補正予算案件など4議案を可決。続いて、平成21年度一般会計決算並びに7つの特別会計の決算を認定し、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出した後、3件の請願を採択し、この請願に基づき意見書3件を可決し、閉会しました。

鵜殿老人 憩いの家

議員

鵜殿老人憩いの家は使用頻度が大変多いと聞きますが、担当のほうでの理解は。

担当課長

使用状況については、月平均述べ432人、年間5184人の利用があり、鵜殿地区高齢者の元気づくり、生きがいづくりの活動の拠点の場として定着していると考えております。今後、さらに様々な活動を通して利用いただけるよう、支援してまいりたいと考えております。

議員

建物の築年数と改修予定については。

担当課長

築36年ということですが、当然ながら老朽化が進み、建物の修繕が必要な状態で、今年に入ってから雨漏れがひどい状態が続く、日によつては満足に利用できない事態になることもあります。現在、緊急措置として屋根の補修を行うなど、老朽化が進んでいる状況で、

市川 潔 議員



・高齢者の所在不明について
・鵜殿老人憩いの家について
他

高齢者の 所在不明

議員

全国で続々と高齢者の所在不明の問題が発生しておりますが、親子の情感から、私には考えられないが、このような情勢の思いを町長はどのように思われるのか。

町長

こういう問題が発生するということが自体、日本の社会保障の問題やいろんな取り組みの状況において支障が出てくることも憂慮されるわけで、正確な私たちのなかで、国民の安全安心を守っていく体制づくりを進めていく必要があると強く感じております。

議員

全国各地で高齢者の所在不

明が発生するなかで、紀宝町における高齢者、80歳以上の人数と確認方法について教えてください。

担当課長

80歳以上の人数は、本年9月1日現在1145名で、安否確認方法については、地域包括支援センターを拠点とし、民生委員さんに協力をいただきながら高齢者の把握に努めております。

議員

100歳以上、90歳以上はどれだけか。

担当課長

本年9月1日現在で、100歳以上6人、90歳以上187人、75歳以上1871人、

70歳以上2608人、65歳以上3420人という状況です。

議員

紀宝町において、確認は何歳以上からされているのか。

担当課長

100歳以上6名の方の安否確認で全員無事を確認。満81歳以上の高齢者祝い金を直接面談をしてお渡しし、65歳以上の独居老人については、各地区民生委員さんに定期的に見回りをしていただいて確認しており、今のところ紀宝町において安否が確認できない事例は発生していません。

急遽、耐震診断を行うための補正予算をお願いし、お認めいただければ、直ちに耐震診断を実施し、その結果を踏まえて、今後の施設のあり方や改修方法などについて具体的に検討していきたい。

議員

予算措置が問題になってきますので、町長のご理解がいただけないといけませんので、町長お願いします。

町長

今後の対策の仕方については、耐震の結果を踏まえて進めてまいりたい。整備については当然、安全安心に利用していただける施設でなければ

ならないと思っており、できるだけ早い段階でその対応を進めていきたいと思っております。

学習指導要領

変更に伴う対応

議員

指導要領が小学校23年度、中学校24年度に変更ということだが、主な変更の町の取り組みについて教えてください。

担当課長

主な改訂の内容は、確かな学力を確立するために必要な授業時数が増加し、教育内容の改善事項は、言語活動の充実、理数教育の充実、小学校における外国語活動、伝統文化に関する教育の充実、道徳教育の充実、体験活動の充実などです。町の取り組みは、21年度はALTによる小学校教諭への夏季研修会、22年度は紀宝町学校教育振興ビジョン作成と通知、ALT2名配置などを行っております。

議員

授業数が基礎科目で増える、学校の終わる時間が遅くなってくるのでは。

担当課長

今現在、把握できていません。

議員

帰宅時間等も含めて保護者の方々へ周知が必要と思うがどうですか。

担当課長

学校との連携も密にし、保護者への通知等、提供等々、周知の方は徹底していきたいと思えます。

議員

中学校で武道の必修はどのくらいの時間ですか。

担当課長

保健体育の時間を学校の実態、子どもの興味や関心を考えながら、武道の授業時数を設定することになっております。

議員

武道の指導は体育の先生が対応できるのか。

担当課長

対応できると聞いております。

議員

武道の必修について、指導方法について町長お答えお願いします。

町長

武道を取り入れていくことは、基本的に個人的にも賛成

で、これからの将来を託す子どもたちが健全に礼節を重んじるような国家になっていたければ大変ありがたいなと思っております。運営等についてはしっかりと取り組みを進めてまいりたい。

議員

総合学習の充実についてお訊ねします。

担当課長

総合学習は従来の教科の枠を超え、児童生徒が主体的な思考力、より良い問題解決能力を培うことを目指す教科で、生きる力を育てていくためにも重要な科目だと思います。

議員

高齢者問題等話すなかで、紀宝町の高齢者に人生の体験談等話してもらったり、交流を持つことも必要ではないか。

町長

総合学習の勉強のなかで、自分たちの住んでいる地域に誇りを持ち、愛着を持つての子どもたちの指導も大事であり、社会を築いてきた皆さま方と一緒に取り組むを進めていくことが大事だと思っております。

防災メール配信

議員

防災無線放送で聞き取りにくいこともあるなかで、難聴対策として携帯電話やパソコン配信するサービスについて当局はどう考えるか。

担当理事

土砂災害相互通報システム整備事業により土砂災害の警戒情報について配信することができるとなります。この事業は県の事業でもあることから、気象情報や地震津波情報等もこのシステムにより、メール配信できるかどうかとも県に対して相談させていただきたいと思えます。

議員

いろんな災害も含めて、メールで知らせていただければ、う、是非県のほうと交渉していただきたい。

町長

理事の答弁のとおり今後もそういった方向で進めてまいりたいと思っております。

議員

安全安心と高齢者へのやさしい紀宝町であることを願います。



鶴殿老人憩いの家



榎本 健治 議員

- ・議会中継について
- ・定住対策について
- ・子育て支援について
- ・授産事業について

他

— 議 会 中 継 —

議員

今回の議会中継は21世紀の地方議会のあるべき姿だと思っておりますが、町長は議会中継開始にあたって、どのような効果を求め、また見出しでいくのか、お伺いします。

町長

議会中継の開始にあたりまして、榎本委員長はじめ多くの皆さま方が本当に熱心にご議論いただくなかで今日ここにこぎ付けられたことに對して敬意を表したいと思っております。大変ご苦勞さまでござい

ました。私たち同じ町の中で同じ情報を共有し、物事を考えていく、そういった機会を提供できることは非常に大きなことであります。町民皆さま方と一体となり町政運営ができる、体制ができたということで、大変嬉しく思っております。

議員

議会中継は、文面では読み取れない表情や発言の思い等々、議会活性化に向けて大きく寄与していく事業であります。また議会中継は手段であり、最終目的では決まてないとの認識しております。最終の目的は情報公開して、住民参加の住みよい町にして、町を活性化していくことです。そのためにも今後のインターネット中継実施に向けてさらに前進していただきたい。

— 定 住 対 策 —

議員

現在の紀宝町の人口推計は約1万2千人弱です。今後の紀宝町の発展は人口増を目指していかなくてはなりません。紀宝町に定住していただくために空き家に着目して活用で

きないか。そこで都市にいる方への情報の観点から、空き家バンクという空き家情報登録制度を開設できないか。空き家物件情報を広報紙やホームページなどで、移住交流、または定住希望者向けの物件情報を提供するものであります。空き家バンク制度を紀宝町でも人口増対策のために開設することができないか、お伺いをいたします。

担当課長

空き家情報登録制度とは、ウェブサイトでその情報を提供する仕組みで、田舎暮らしにაცგაღარ都市からの移住希望者や農業などの新規就農者のための住宅確保などに活用されている制度です。移住者が長く定住していただくために、空き家利用希望者が地域の方と交流や活動を行っていきけるような地域の受入体制などの整備についても必要と考えております。実際、紀宝町の総合計画での施策の中で、平成28年度に1万3千人の人口を確保したいと計画も立てていることから、少しでも転入していただける仕組みづくりを積極的に取り組んでまいりたい。

— 子 育 て 支 援 —

議員

ファミリーサポートセンター事業は保育等の援助を受けたい人で行いたい人を会員として、保育所への送迎や一時預かり等で育児についての助け合いをする事業です。子育て支援センターでの事業とリンクさせて、子育てを助け合う仕組みを構築できないか、お伺いします。

担当課長

ファミリーサポートセンターについてはですが、現在実施をしている子育て支援施策をさらに充実させていくという視点から、紀宝町としても是非、その実現に向けて前向きに取り組んでまいりたいと考えております。具体的な実施時期について、後期次世代育成支援行動計画の中に明記をさせていただいていますが、平成26年度までに1カ所の設置で計画をしております。できるだけ早い時期に前倒しをして進めてまいりたいと考えております。

議員

この質問は平成20年の9月

議会、2年前の議会ですが、一般質問申し上げました。そのなかの答弁でもファミリーサポートセンター事業については、すでに運営している県下のセンターの状況を参考にしながら、子育て支援センターに引き続き開設していきたいと考えておりますと、実施していききたいと答弁されました。あれから2年が経つわけですが、できるだけ前倒しをして、実施できるようにしていただきたいと思っております。アンケートの中でも60名の方は緊急時など祖父母・知人・友人に預かってもらえる方がまったくいないと回答されています。

担当課長

依頼会員と提供会員、これらをきちんと登録をしていたかどうかという作業がございまして。やり方は委託ではなくて、町運営方式でやってまいりたいと考えておりまして、会員をきちんと確保したなかで運営をスタートしていくというのが、まず一つ大事なことでだと思っております。それが決まった後に研修期間を設けさせていただきたいと思っております。具体的には来年

度中に、その作業を進めてまいりたいと考えておりまして、できるだけ早い時期に整備が整い次第、実施に向けて進めていきたいと考えております。

― 授 産 事 業 ―

議員

例えば休校等の施設等を活用していくなかで、公設民営で授産事業を展開できないか。雇用契約に基づく就労の機会を提供するために、民間に運営の募集等も行えないか。

担当課長

休校利用について、福祉課の視点で申し上げますと、障がい者の支援、子育て支援、高齢者支援など幅広い福祉施



議会中継システム機器

策を進めていくなかで、今、議員がおっしゃった意見も踏まえながら施設の活用などについて検討してまいりたいと考えております。

議員

西田町長が率先して、紀宝町の休校等を利用していくなかで授産事業をやっているところ、広域の1市2町の首長さんに働きかけをしていただきたい。

― 特別支援学校 東郷くろしお学園 ―

議員

くろしお学園の建て替えの要望は住民から上がってきていると思いますが、当局の方にも建て替えの要望はありますか。

担当課長

教育委員会の中で実施している町内の特別支援を要しておられます児童生徒の保護者との懇談会で、聞いたことございます。

議員

おそらく昔から、長年に渡って要望は上がってきていると私も認識しておりますが、一番の問題は、県外の方へ通

われ、それに伴って保護者の方も転出されるという事態に陥っています。県の方針を分かっていればお伺いしたい。

担当課長

特別支援学校の管轄につきましては県の教育委員会でございます。情報として、今年4月以降、7回から8回くろしお学園の方で県の担当、学校側及び保護者との話し合いの場を持っているとのこと、この場でご要望等を検討し、現在、県教育委員会では、次期教育振興ビジョンの中で平成23年度から26年度までとなる県立特別支援学校整備第2次実施計画を策定中でして、この中で建て替えについて位置づけすると聞いております。

議員

この建て替えについて今までも要望があっても消えてしまい、なかなか実現に至っていないというのが長年の現状です。小中学校では、2階へのバリアフリーの問題、高等部では教室が足りない等の問題があります。新たに施設を建て替えていただき、小学校、中学校、高等学校と連携した中の学校運営を築いていただ

きたいと思います。町長、くろしお学園の現状をどのように考えているか、お伺いします。

町長

くろしお学園の問題については、これまでも榎本議員からもいろいろとご指摘いただいて、私もことあるごとに、こども局長に対して、こういう問題があるということは申し上げております。議員からも今もご指摘いただいたように、施設の問題、指導教育の問題について、これからも県に対して強く申し上げてまいりたい。

議員

是非、県に声を大にして、伝えていただきたいと思います。子どもたちは学び、働くための実習も一生懸命やっているなかで、特に高等部の方を見ていただいたら分かりますが、3部屋しかない。教室が足りないというような現状を目の当たりにしていくなかで、強く要望をお願いします。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。
(<http://www.enomotokeiji.com/pan.htm>)

北山 千恵 議員



・高齢者生存・所在確認について
・生ごみ堆肥化とごみ問題の将来構想について
他

― 高齢者生存 ・所在確認 ―

議員

100歳以上の高齢者の生存・所在問題が日夜報道されており、新宮市では149歳を最高齢として487名が戸籍上生存扱いになっていたと、那智勝浦町でも370名いたと報道されました。また、熊野市では白骨化するまで高齢の母親を放置し、年金を不正に受給していたという、大変痛ましい事件も起きております。本町でこのような事件が起きないようにする

ために質問をさせていただき
ます。100歳以上の方は戸
籍上37名おられ、生存者は6
名だそうです。80歳・90歳
以上の方、また後期高齢者の
方はどれくらい見られます
か。

担当課長

高齢者人口は3420名で
高齢化率は27・8%、80歳以
上は1145名、90歳以上は
187名、後期高齢者は18
71名です。

議員

80歳以上で独居の方は地域
別にどれくらい見えますか。

担当課長

井田地区72名、神内42、成
川90、鮎田・高岡46、瀬原・
浅里33、大里34、井内6、平
尾井16、阪松原5、桐原11、
鵜殿150名です。

議員

高齢者と民生委員の数の関
係はどうなっていますか。

担当課長

民生委員38名で安否確認に
対応していますが、法上では
27〜50人の範囲で決めるとな
っています。民生委員に負担
が多いということです。で、
認知症のサポーター制度等も
活用し、地域全体で見守って

いくという姿勢で取り組みた
いと思っています。

議員

昔のように隣組制度を復活
させ、地域の絆を強くするこ
とは大変重要なことだと思っ
ます。そのために、20〜30軒
単位で自主防災組織を整備
し、地域のことは地域で十分
把握できる状態が必要だと、
その組織づくりの仕掛けをど
うやるのですか。

担当理事

本町での自主防災組織は現
在32団体で、75・7%の組織
率です。先日、鵜殿地区に必
要性を説明し、懇談会を持っ
たところで、井田上野地区は
説明会の開催日時を調整して
います。自主防災を組織し、
災害時以外に常日頃の安否確
認の体制づくりや緊急時の連
絡網づくりなどをお願いして
います。個人情報保護もあり、
個人の同意を得なければ
ならないが、防災面、福祉面
で寄与できるような組織づく
りをやっていききたい。

議員

そのように行政が仕掛けを
し、町内に自主防災組織を張
り巡らせることは理想的だと
思います。ご近所で万が一の

ことが起こった場合、案外そ
の方の勤め先や親族の電話番
号が分らないということも多
いと思います。ある町ではご
近所の連絡表というのを作っ
ており、個人で連絡したい人
の携帯番号などを書き込んだ
名簿を2通つくり、自分で封
をして役員さんに預けるそう
です。2通作るのは役員さん
が不在の場合を想定してのこ
とで、緊急事態が起こった場
合に初めて封を切って連絡を
する。何もなければそのまま
次の役員さんに引き継いでい
くそうで、お年寄りの方はこ
の名簿のお陰で安心だと話さ
れておりました。このような
方法も是非検討していただき
たいが。

町長

高齢者や要支援者の安心安
全を確保する上で、議員の言
われたことも手法の一つとし
て、ご指摘いただいた部分も
踏まえていろいろ情報提供し
ながら、より良い方法で運営
できるよう努力します。

生ごみ堆肥化

生ごみ問題

議員

長年主張し続けてきた生ご
みの堆肥化施設が本格化して
きました。具体的にいつごろ、
どこに建設するのですか。

担当課長

3カ所程度の候補地から1
カ所程度に絞り込み交渉する
予定で、場所は公表できませ
んが、施設建設は23年度に予
定しています。

議員

将来的には資源循環型の農
法として生ごみ堆肥を積極的
に取り入れ、有機堆肥を使っ
た野菜作りを奨励し、本町全
体を有機の郷と位置付け、人
にも環境にもやさしい町づく
りの一環としての生ごみ堆肥
化施設建設ですか。

担当課長

当面は町民の皆さまに有効
に活用してもらい、イベント
等で普及用に使用したい。将
来的には堆肥の販売やそれを
使った各種事業を展開して
もらえるよう官民一体となっ
てやっていきたい。

町長

3R等の事業を推進するこ
とでごみを減らし、最終処分
地の延命も図り、RDFにつ
いてもいろいろな角度から検
討を重ね、法的なクリアーが

必要だが地元企業にも協力し
てもらえるとありがたい。皆
さま方のお知恵を拝借するな
かでより良いごみ行政の推進
に向けて進めてまいりたい。

老人施設と 保育所建設

議員

保育所建設住民説明会の
際、井田区民から保育所園庭
の芝生化の要望がありまし
た。芝生の維持管理を保護者
や住民の方でやっていただけ
るのなら、芝生化するのも良
いと思うのですが、当局のお
考えは。



井田保育所建設予定地

担当課長

芝生化にはメリットも多くある反面、維持管理が大きな問題となってきます。保育所園庭が地域住民の交流の場や、宝寿園サテライトの憩いの場となることなどを踏まえ、芝生化する場合は保護者や地域の皆さまのご協力を得ながら維持管理ができるような体制を考えてまいりたい。

議員

新しく建設する両施設ですので、職員、保護者、来客用駐車場などにも充分配慮し、事故が起きないように施設建設を要望します。

健康民宿村構想

議員

今回は健康民宿村、1点に絞って一般質問します。イメージは「健康づくり民宿村」

一次予防を中心にした「民宿村の構想」です。この提案が中世の騎馬武者が風車に突進するドン・キホーテ（希代のほら吹き）なのか。それとも地動説唱えたガリレオ・ガリレイ（時代を先読みした科学者）なのか。まず、一般質問に先立って一言述べます。これまで12年の間、厳しい追求型の一般質問を行ってきた。が、会社・企業の誘致（ハード）で地域活性化に限界を感じ、日本レベルで通用するような高度な知識（ソフト）の能力を習得する必要性を感じました。それでは質問します。熊野古道歩いたことあるか、喫煙されているか、適正体重の意識あるか。1分程度でお願いしたい。

町長

私は熊野古道全般の中で全部踏破したことはございません。喫煙の話ですが、心痛い質問でございます。健康づ

くりを進め推進していくという意味においては、やはり大きな問題だろうと思います。社会の中でのルールづくりが必要ではないかと思っております。

特別参与

私の家の前は熊野古道の最終地点でございますので、毎日歩いております。「うつ病」の問題は、これも現在の社会的な病気といっているのかもしれない。今、ストレス社会といわれるわけですから、も、ストレスのために「うつ」になる方が多いのか、いろいろと議論が出てきますが、「うつ」の問題は、非常に社会的に大事な問題であろうかと思っております。

議員

これは「うつ病」でトップクラスの心療内科先生の本。この中で先生は3年前から「心療内科に行く前に食事を変えたら」と主張しています。つまり食事、栄養状態が悪いほど「うつ」になりやすい。「うつ」の薬はSSRIというセロトニンを再利用する薬で、そのセロトニンはタンパクからできています。日本120カ所以上でヘル

ス・ツーリズム事業行っているが、採算ベースに成功しているケースとダイエットをテーマにしている所があれば、教えてほしい。

担当課長

現在、国内で先進的な取り組みをしている地域のひとつが、和歌山県です。ここでは、和歌山県、財団法人和歌山健康センター、和歌山大学などが協働し、熊野古道を歩くことで心身にどのような効果があるか、医学的に検証する研究を行い、特に地域での体験がおよぼすメンタル面への好影響など、先導的な調査結果が得られたと聞いております。

議員

今おっしゃった和歌山の健康村構想については5年前から興味あつて、講演会には何度も行きました。ドイツでは保険制度を使った温泉施設もあり、そういったイメージの「癒し」でアウトソーシング（下請け仕事）できるような施設誘致を念頭に和歌山県が行なっていることもよく知っています。全国でも和歌山県が一番突出していますが、まだまだ緒についたばかりで

す。もう1つダイエット事例のことを質問しています。

担当課長

さまざまな人がダイエット法を提唱しております。特に他人に対して指導する場合は、医師の指導に基づいて行わなければならないということで、医師法違反の対象となる場合もありますので、注意が必要です。健康づくり推進課におきましては、食事をコントロールすることによって健康的な標準体重にするために、体重を減らすことを考えております。基本的な指導としては、食生活を変える栄養指導と効率的な減量を行う運動指導を行うことにより、肥満対策及び生活習慣病対策として、保健士による保健指導を現在行っております。

議員

私は「ヘルス・ツーリズム（健康旅行）」でダイエットをテーマにしている地域があるか」の質問でしたのですが、それはもういいです。クロワッサンという月刊誌の中に、京都大学大学院の教授が1カ月8キロ[㌾]減ることはありえない。1カ月8キロ[㌾]痩せる

ためには、理論上は飲まず食わず1カ月しないとダメで、その前に死んでしまう。だから絶対ありえないと言う。これ読んだときに私は正直、「この記事が嘘や」と思い。1カ月後に1週間、7人の3度の食事を私が管理し、普通生活での実験をやりました。平均値が1週間でマイナス2・5キロ^{グラム}。さらに今年になって28日間のダイエット大会を開き、1番は25歳の方で、8・7キロ^{グラム}減。家内でも1週間に2回熊野古道歩いて6キロ^{グラム}減。理論でなく実際に痩せるときには脂肪とタンパクが半分・半分、そして身体の水分が6割。しかし、脂肪だけの燃焼で捉えているのが今の栄養学目線、これが現在の大学でのダイエットに対するレベルとも言えます。それだけに「健康づくり民宿村」の実現は可能です。

栄養の質問ですが、栄養教室の教科書で5大栄養素欠如要素があります。

担当課長

教科書を作成しました日本食生活協会に照会をさせていただきましたところ、「日本人の食事摂取基準によれば、

ビオチンについては、推定平均必要量を推定するに足りる実験データはないと記載されており、未だ食品成分表に記載されておらず、摂取基準が曖昧であるため記載をしなかった」という回答をいただきました。

議員

その返事聞いて、二度ショック受けました。「そういうデータがないから、記載してない」とは真つ赤な嘘。例えばB1なんかの栄養摂取基準なんか実際は4〜5人のデータをもとにして推論しているのですよ。国の食事摂取基準はビオチン30^{ミクログラム}という記載が載っています。どうして素直に記載ミスと言えないのか。はなはだ疑問に感じます。多分、田舎の町会議員が訊ねた質問だから、そういう答えが出てきたんじゃないか。しかし私も専門家。もう1点「妊婦に対して10000IU以上摂取を避けた方が良い」の記載も普通50000IUと記載すべきです。そういった高度の知識（ソフト）の能力なしで「健康づくり民宿村構想」は不可能と思うゆえ、重箱の隅を突つくような質問

をあえてさせてもらいました。

正しい情報を提供しオンラインワン、ナンバーワンを目指す可能性はあります。GI値なんかの食事についての感想、お願いします。

特別参与

議員が栄養問題に取り組んで勉強に励んで、栄養情報担当者として活躍されていることに敬意を払わせていただきます。それでGI値ということでございますけれども、よく勉強していただいているというのが率直な感想でございます。健康づくりというのはどの辺まで医療に該当するかというのはちょっと灰色のところのございます。なかなか線を引きにくいところでございますけれども、社会通念から申し上げれば、栄養学というのは医学の一つの分野でございまして、その栄養学などの専門知識を用いて業を行えば医業になっていくということも頭に入れておかなければならない問題かなと思っております。そのGI値というところで、先ほど申し上げましたように、よく勉強していただいているのが率直な感想

でございます。

議員

ありがとうございました。栄養情報担当者（NR）は情報の精度を取捨選択して流すのが仕事であります。また、薬種商（登録販売人）としてドラッグストアの現場にもいたので、薬事法、医師法の多少知識はあります。この「健康づくり民宿村構想」は医師等の専門の方の知恵をいただいたほうがベターとの思いがありました。今の知識を活かして「新しい産業」を作りたい。

町長

今日は鈴木議員にご講師いただきまして本当にありがとうございました。先ほど特別参加も申し上げておりましたけれども、大変勉強されていると私も驚きました。紀宝町議会も大変専門的な議論ができる場になったのかなと思います。肥満の問題については食事等も含めて、いろいろな状況の中で解消されていくのだらうと思っておりますし、特定健診等踏まえても、メタボリックというのが健康づくりにおいての課題でもございます。これから大いにPRい

ただいて、健康づくりというものを改めて町民の皆さま方にも、また考える機会があれば大変ありがたいと思うところです。

議員

理解していただき、とても有意義な一般質問になったと思います。これで終わります。



塩野 真 議員

- ・住宅の建築補助について
- ・大会出場等の旅費の補助について
- ・学校の暑さ対策について
- ・草刈について 他

住宅の建築補助

議員

三重の木材を使用して町内に住宅を新築する場合、何か優遇策はあるのか。

担当課長

現在、三重県及び紀宝町では直接的な補助はございません。平成21年度からは直接的な補助ではなく、「三重の木」利用推進協議会が「三重の木」業務協力機関と覚書を締結し、「三重の木」を使って建てた家は、住宅ローンの金利引き下げ対象となっております。

議員

近隣の市町においてはどのような状況になっているのか。

担当課長

熊野市はレインボー商品券を配布しております。新宮市は、和歌山県が上限20万円までの助成、新宮市が独自で平成23年度までの期限付きで、上限50万円の事業を実施しております。

議員

戸数限定、期限付で紀宝町として独自に補助を企画できないか。

町長

若者定住促進の意味で、固定資産税を8年間半額にする取り組みがあります。全国的にも初めてだと思っております。合併浄化槽も割安になっ

ており、建築される方々の経費の節減には大きく貢献をしていると思っております。いろんな施策の中で今後、検討進めたいと思っております。

大会出場等の旅費の補助

議員

子どもたちの遠征旅費の補助について、町内で対象となる団体、個人はどのように規定されているか。

担当課長

対象者は、県大会等以上の大会等に参加する団体及び個人で、選手・監督・指導者は、紀宝町の住民で、大会等に出場登録できる者となっております。スポーツ少年団は、町に登録されている者となっております。

議員

全国大会、東海大会等の長期の遠征の場合、旅費の上限はいくらか。

担当課長

1人当たりの補助上限額を2万円としております。

議員

中学生の大会出場の補助はどうなっているか。予算的に

問題はないのか。

担当課長

中学校体育連盟主催及び共催の大会の県大会出場では60%、東海大会出場では80%、全国大会出場では100%の補助金を交付しております。各種社会体育大会は、25%の補助金を交付しております。予算は前年度の実績をもとに、次年度の予算化をしております。

議員

旅費の補助申請漏れで利用できていない個人、団体等がないようPRしていく必要があると思われるがどうか。

担当課長

今後、町広報にて周知をさせていただきますと思います。

学校の暑さ対策

議員

気温が体温を超えるような異常な環境の中、エアコン等の設備がない校舎、体育館、グラウンドの気温はどうなっているのか。対策はしているか。

担当課長

校舎、体育館、グラウンド

での気温も室内外を問わず、30度以上の暑い日が続きました。熱中症予防のためのポイントとして、直射日光の下で長時間の運動やスポーツを避ける、屋内外にかかわらずこまめに水分を補給等、常に健康観察を行い、異常が見られたら、速やかに必要な措置をとることとなっております。

議員

ほとんどの公共施設でエアコンが整備されている中で、学校に通う子どもたちだけ暑い日の大半を、エアコンなしで過ごさせる意味がどこにあるのかよく分からない。子どもたちが快適な環境で過ごせるよう長期的な展望で考え、学校にエアコンを導入できないか。

担当課長

9月上旬に各学校に対し、扇風機の設置希望教室、必要な台数の希望調査を行いました。風通しを良くするため扇風機の設置を検討しております。

議員

扇風機を導入し、熱中症対策を段階的に進めるのはいいいが、教室の状況をよく確認して対策を考えていただきた



草刈

議員

町内の除草に関してどのような取り組みをしているのか。

担当理事

町有地は、シルバー人材センターへの業務委託や、総務課職員で実施しております。住民の皆さまのご協力により、自主的に町有地の除草作業を行っていただいているところ

が数多くございます。

担当課長

町道は、ご要望や職員の現場確認時のパトロールにより把握しております。作業は、社明運動等で地元のボランティアの方々に行っていたにいたる状況でございます。しかし高齢の方が多くなり、今後は難しいという意見も出されております。

議員

ボランティアで燃料代やケガに対する保険もなしで、毎年除草を行ってくれている方がいる。いつまでもボランティアの方に頼っていくわけにはいかない。町は町の役割、自治会は自治会の役割、個人は個人の役割を規定して、町がリーダーシップをとって町内の除草を進めていく必要があるのではないか。

担当課長

社会を明るくする運動で、自治会の皆さまが中心になって草刈作業にご協力いただいております。継続的に実施していただくために、町として地域活動育成補助金をお渡しして、財政面でも支援も行っております。

溝 掃 除

議員

溝掃除に関し、町でどのように規定しているか。

担当課長

規定等はありません。要望を受け、現地確認しております。日常生活に支障をきたしているところについて、維持工事等で順次対応しております。以前は、社明運動また地元で排水路清掃を行っていた地区もございましたが、コンクリート蓋を開けることが大変困難となり、地元の方々で行うことは難しくなっております。

議員

大まかな規定があっても良いのではないかと。

担当課長

町道を管理していく上で、排水路の管理は重要と認識しております。地元の方々と今後協議をさせていただき、対応しなければならぬと考えています。

農業用水の水質

議員

農業用水の水質はどのような状況か。

担当課長

町として農業用水の水質検査を実施はしておりませんが、これまで紀宝町におきましては、営農に影響を及ぼすような農業用水の水質の悪化を招いた事例の報告はございません。現時点でも農業用水の水質について心配はないものと考えております。

議員

現在問題なければ大丈夫だろうという判断は怖い。今後、何か取り組みをやらないのか。

担当課長

年2回河川の水質検査を実施しております。いずれも環境基準をクリアしておりますので、農業用水の水質としても心配ないと思っております。農業用水の水質向上は、農業用水の受益者及び周辺住民の協働・協力をいただき、適正な環境整備に取り組んでいくことが必要であると考えております。

議員

河川の水質検査で問題がなければおそらく農業用水とし

ても問題はないと思う。しかし不法投棄や生活排水、下水処理の問題で、今後、水質が悪化する恐れもあるので、引き続き取り組んでいただきたい。



西村 喜久男 議員

- ・ショートステイ（短期入所）について
- ・虐待防止対策について
- ・父子家庭の児童扶養手当について
- 他

ショートステイ

議員

長期にわたる自宅での介護は大変だと思えます。介護する人が体調を崩したり、冠婚葬祭で出かけなければならぬときもあると思います。そんな時、利用できるのがショートステイだと思います。現

状はどのような体制になっておりますか。

担当課長

ショートステイには短期入所生活介護と短期入所療養介護の2種類があり、対象者については、要支援・要介護認定を受けた方で、介護サービス上の制度でございます。事業所の数は、紀宝町内には宝寿園と「ショートステイつどい」の2施設ございます。また、管内の御浜町に3施設、熊野市に3施設と、新宮市に4施設ございます。それぞれショートの受け入れベッド数は宝寿園20床、「つどい」は33床ございます。その他管内のショートのリフト数合わせますと123床という状況で、現時点でショートを利用している方は91人の方でございます。

議員

連続した利用日数は30日と聞きましたが、どうしてもそれ以上延長したい方への対応は、どのようになっていますか。

担当課長

施設入所、本入所の申請もしていただく中でケアマネージャーを通じて広域連合に理

由書を提出いたしましたして、引き続きシヨートの利用をしていただく形をとっております。

議員

利用者本人の精神的なストレスを少なくし、安心して利用していただくために、本人の状態や食べられないものなど伝えておくことが重要だと思います。利用者本人の情報の共有にどう対処されておりますか。

担当課長

担当ケアマネジャーが本人の状態を踏まえて、家族と相談しながら施設との日程調整をさせていただいております。できる限り利用者本人の希望を聞かせていただき、利用する方があまりストレスを感じないような配慮を行いながら対応していただいていると認識しています。その施設に慣れていたため、事前宿泊利用していただくことも大事です。急にサービスを利用したくても管内施設に空きがない場合、尾鷲などの遠方の施設を利用したり、保険外で対応できる施設を探し利用するなどの、事例もあると聞いております。来年7

月井田に宝寿園サテライトが開所いたします。本入所29人、シヨート11床ございますので、待機者の解消につながっていくと考えております。

― 虐待防止対策

議員

児童福祉法の中で児童に対する暴力行為を発見した場合は、警察、市町村、児童相談所などに通報する義務が国民に課せられています。紀宝町における児童虐待、幼児虐待、ネグレクト（育児放棄）についての情報収集と予防措置はどのようなようになっておりますか。

担当課長

紀宝町においては、平成21年度で、身体的虐待1件、ネグレクト3件の計4件となっております。情報収集と予防措置につきましては、医療、保健、福祉、教育、警察、民生委員など関連機関等と情報交換を行いながら児童虐待の早期発見、防止活動に努めております。また、虐待を受けてしまった子どもへの支援、親への対応についても、児童相談所を中心に関係機関等と連

携しながら対応を行っている状況です。

議員

教育現場では虐待についての情報収集と予防措置はどう取り組まれておりますか。また、対処マニュアル等はできておりますか。

教育長

学校では個人情報の確保をしっかりと認識し、教育委員会や他の機関、福祉、児童相談所、紀宝警察署との連携を密にしていくなことが必要であろうかと思っております。予防措置は、常に子どもの様子の変化を観察し、異常が感じられれば、虐待の兆候が見られれば、直ちに他機関との連携を図ることが大事であろうかと思っております。また地域の方々の情報が学校等に入りやすくしておくことも必要であろうかと思っております。虐待についての対処マニュアルは各学校でまだできておりません。今後でさるだけ早く作成していく必要があると認識しております。

議員

早急に作成していただくことを要望しておきます。配偶者虐待、DV（ドメス



平成22年第3回定例会

テックバイオレンス）についての報告はありますか。情報収集と予防措置はどのようなになっていますか。

担当課長

DVがあつた時に一人で悩まずすぐ相談できるように、内閣府男女共同参画局が作成した、相談の連絡先を書いたカードサイズのリーフレットを、女性の目にふれやすい場所、例えばコンビニの女性トイレに置くなどして啓発を行っております。また、福祉課や警察生活安全課などに直接連絡していただければ、すぐに関係機関と連携を行いながら、相談者の一時保護も含め対応させていただいております。紀宝町において平成21年度4件という状況となっており、今後も、警察など関係機関と協力しながら、啓発を中心に防止に努めてまいりたいと思います。

議員

高齢者虐待や障がい者虐待の情報収集と予防措置についての取り組みはどのようなになっていますか。

担当課長

現在、民生委員や各介護サービス事業所、医療機関の代

表者などで構成の「地域包括ケア会議」で高齢者虐待についての情報交換を行うなど、防止と啓発に努めております。町内の相談件数は平成19年度1件、20年度2件、21年度3件という状況です。障がい者の虐待相談件数については、三重県全体では、平成19年度2件、20年度3件、21年度5件の状況となっておりますが、紀宝町では今のところ相談件数はございません。今後についても、すべての虐待が無くなるよう、関係機関と連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。

— 父子家庭の 児童扶養手当

議員

今年8月から児童扶養手当が父子家庭にも支給されるようになりました。受給資格該当者の把握と対処等はどういうになっておりますか。

担当課長

町内の父子家庭を調べさせていただきましてところ18件ございます。その中から、所得制限がございますので、それら非該当者を除き10件の方

が対象になることが分かっております。個別にご案内を申し上げ対応させていただいてきました。

議員

今後も積極的に支援を進めていきたいと思います。また、母子家庭など一人親家庭に対する支援について、皆さんからのご意見やご要望に対処する体制はできておりますか。

担当課長

子育て支援という視点でのご意見が多いように思います。そういった中で学童保育、遊び場開放、子育て支援センター等を利用されている方に、直接ご意見を伺い、今後の施策に反映をしていきたいと思っております。

— 「美三国おんじ」・ 三重」の活動

議員

大里の京城遺跡など、紀宝町にある有形、無形の文化財の保護や保存をする活動のパートナーグループを募集して、文化財の保護と、地域振興のきっかけづくりへの取り組みについてどう考えです

か。

町長

京城の部分については、今後、試掘をやつてその状況を見ながら、進めていこうということです。ご提案いただいたことも含め、これから皆さま方とも協力し合つて、そういった体制ができれば、取り組みの機運が起これば、取りたいと思つているところでございます。

※この他に、安全で快適な学習環境づくりについて質問がありました。



地案 光徳 議員

・自然景観を生かした観光集客への整備について
・電動車いすの安全運転への呼びかけについて

他

自然景観を生かした観光集客

議員

8月9日東紀州の課題について、野呂知事と5市町のトップ会議があり、その中において、西田町長は河口大橋の実現を要請、熊野川の清流が損なわれていることも大きな問題、景観財産を守っていくことも重要と述べられていました。また高速道路の延伸については、各市町が大きなチャンスと捉える一方、ストローク現象が懸念されるとし、伊勢と熊野をセツトした観光PR、県内外への情報発信など広域面での協力を求めたとありました。わが町にも環境整備すれば多くの観光名所があります。飛雪の滝を始め、蔵光山に入れば子ノ泊を始めとする、荒滝、紅葉の滝、もう少し下れば誰もが知つていいる一の滝から四の滝まで連なっている4つの滝があります。昭和40年くらいまでは山林業が盛んだつたため山道もよく手入れされていたが、今では荒れ放題になっている。この荒廃した道を遊歩道にす

る事業計画を立て整備すれば、多くの方が入山されると思うがいかがでしょうか。

担当課長

町内において滝などを案内した看板を設置していましたが老朽化したため、できるだけ早急に掛け替えをしたいと考えています。集客への材料として歩道を整備できないかについては、県や東紀州観光まちづくり公社に補助等を活用して整備できないか問い合わせましたが、観光関係補助、林道関係補助とも該当事業はございませんでした。過度な歩道の整備は景観を損な

う可能性が考えられるため、十分な検討が必要と考えています。

議員

この滝遊歩道整備事業は今後一つひとつ現地調査をやつて、その結果を県や観光協会に提言していただき実現させ、あわせて一次産業の活性化を図り、熊野市南郡のこの地を集客の拠点にし、せっかく貫通する高速道路を使ってやってくる観光客を素通らせることのないよう要望いたします。

町長

ツアー等に参加する皆さまの趣旨や目的、そういったものを十分調査しながら、できるだけ集大成できた紀宝町の観光体制を作り上げていければと思っております。

— 電動車いすの安全運転

議員

最近全国的にもこの電動車いすでの死亡事故等が新聞などで多く報道されています。紀宝町内にもこの車いすを利用されている方もかなりいると思います。この電動車いす

は道路交通法では身体障がい者用の車いすで歩行者としての交通ルールやマナーを守つて通ろうということで、別に講習などを受けることがない。それがゆえに運転する人の自己責任が大きい。高齢者等も多いので事故防止には十分気をつけないといけないと思う。よつて、自治体や行政も含めて何らかの事故防止策を立て、PRが必要ではないか。

担当理事

この地域では電動車いすの事故は発生していないものの、自動車や電動車いす同士の衝突事故、歩行者や自転車との接触事故が発生する恐れは十分にあるものと思います。紀宝警察署では、高齢者を対象に交通安全教室において事故防止の啓発を実施しています。行政のほうも警察署の方々と連携して啓発を図っていきたいと考えております。

— 高齢者の所在不明問題

議員

高齢者の所在不明問題が全

国的に広がりを見せている。戸籍が適正に管理されていない現状が浮き彫りとなつている。当町も調査の結果37人いることが判明したとあります。過去の件については役所もいろいろな不備もあったことでしょうが、問題は今後高齢者が安心して地域社会の中で生活できるかで、どのような対応をするのが課題かと思う。

担当課長

高齢者の見守り体制の充実を図っていくことが大変重要と考えています。今後は地域包括支援センターを中心に、民生委員、介護サービス事業所などの協力、意見をいただきながら、体制づくりに努めてまいりたいと考えております。

議員

現場に行くのはほとんど民生委員で、個人情報取扱いの厳格なこともあり、行政のほうから情報があまり届いてこない等もあり、肝心の膝づめ相談などをする時間が取れない。こういうこともあり全国的には民生委員になる方がないとも言われている。当町はどう

か。

担当課長

守秘義務は当然ありますが、当町では民生委員さんにはできるだけ様々な情報を共有しながら、高齢者、児童福祉も含めて対応していきたいと思っています。

— 脳死移植

議員

渡米移植の道が狭まるなかで、国内の移植を増やそうと改正臓器移植法が昨年7月に成立、今年7月17日に全面施行されました。脳死下の臓器提供について、本人の書面による意思表示がなくても、家族の承認だけでできるようにし、これまで禁じられていた15歳未満からの提供も可能にしました。このことにより、改正後8例目の臓器移植手術が行われました。でも脳死下の臓器移植もまだまだいろいろの問題もあるようだが、日本でも臓器移植を待っている人は1万3千人の方がいます。法律も改正されました。皆で助け合う意味でも、町内においても一人でも多くの方の臓器移植希望登録

桐原の二の滝



者が快く意思表示カードを申し込めるようPRすることも大切だと思います。

特別参与

PRが大事であると町としても考えています。法改正の中でも「国及び地方公共団体は、移植医療に関する啓発及び知識普及に必要な施策を講ずること」とされています。このことは町としても移植医療に関する啓発及び知識普及に必要な施策を鋭意してまいり所存です。役場の玄関、保健センターのロビーに臓器提供意思表示カードを設置しています。30枚くらい持っています。紀宝町においては、10月1日からの国民健康保険者証の裏側に臓器提供をする意志を記載する欄を作っています。そういうかたちで広報、普及に努めています。また広報きほう等にも載せ、啓発普及に努めたいと思っています。



尾畑 啓嗣 議員

・教育予算の増額について
・旅費条例の見直しについて
・入院見舞金の創設について
他

教育予算の増額

議員

質問の第1は教育予算の増額について、第2は旅費条例の見直し、3点目は入院見舞金の創設、4点目、子ども議会の答弁、5点目、紀宝バイパス工事、最後に固定資産の誤りについて質問します。

1点目の矢渕中学校の生徒クラブ活動の成績は、全国に通用できるところまで向上していることに大変私は喜んでおります。中体連主催の大会参加費の補助だけでなく、各

種の大会、練習試合への父母負担の軽減の制度を作って、保護者の負担を軽減してはどうか。

担当課長

参加費、宿泊費、交通費等は参加者の個人負担という連絡を受けております。

議員

次は備品について伺います。吹奏楽部の備品が中学校で揃わないと聞きます。どんな楽器が足りないのか。

担当課長

把握はしていないですけれども、顧問所有の楽器とか、他校から借用している楽器はあるという認識をしております。

議員

先生が転勤されて吹く楽器が無くなる、これでは教育ではないと思う。来年の教育備品の予算の増額を町長に要望し、町長の答弁を。

町長

プラスバンド部の盛り上がりも大変大きくなってきましたので、町としても、子どもたちの活躍の場を提供することも大事ですし、道具も当然大事になってくると思いますので、できる限り前向きに考

えてまいりたいと思っています。

旅費条例

議員

今、全国の自治体は経費の節減に努力しています。紀宝町議員は、議会や委員会に出席すれば支給される2千円の費用弁償を廃止しました。町長自ら節約できるものはないかと考え、町長の退職金一期1329万8688円の減額に町長応ぜず、合併時194万6千円の町長交際費の減額、21年度決算では、51万4390円の減となりました。

町長は県外へ出張しますと日当として5千円、県内4千円つきます。給料もらいながら日当を受け取ることは、二重取りとなる。やめるべきだと思う。20年度は47万6200円、21年度は43万5400円、宿泊費1万5千円を実費にすれば、年間50万円は節約できます。私は二重取りという性格はやめるべきだと思うが、町長の考えは。

町長

議員ご指摘の部分を踏まえて、今後、適正な形の中で十

分検討をしていく必要はあるうかというふうには考えておるところでございます。

入院見舞金の創設

議員

2年前の6月議会で提案しました。町長は財政面も含めて検討する課題だと、前向きの答弁をされました。高齢者は毎年増えています。来年度に向けて検討してください。

町長

特定健診や医療費等の公約実施をするなかで、置き去りになっていたわけで、今後とも検討してまいりたい。



子ども議会の様子

子ども議会

議員

昨年の8月28日に子ども議会が開かれました。町の温暖化対策、通学路の安全、ランチルームの冷暖房化、給食の多様化、遊び場の拡大、児童館の建設等の質問がありました。一年が経ちました。子どもたちが質問してからどんな回答が来たか、子どもたちは期待していると思います。私は議員になったら議会報告をしますと公約しました。16年間1回も欠かしたことはありません。一般質問にも毎回立ちました。一応子どもにも答えた以上、それは返していくべきじゃないか。

教育長

パン食については、次回の給食運営委員会において検討します。学校のエアコンは風通しを良くします。地球温暖化については学習してもらいます。

紀宝バイパス

議員

私が心配な紀州製紙の導水管の上部を通過し、残り110メートルとなり、60日間くらいで貫通する、震度値も0・1カイン以下か。井戸水40カ所、湧き水20カ所、沢水3カ所に変わりがいいのか、地下水はどのくらいか質問します。

担当課長

変わりなく進んでおり、地元の方々と密接し話し合いながら、国土交通省の調整役を務めております。

固定資産税の課税誤り

議員

昭和48年以後に宅地に家屋を建設した小規模住宅用の敷地面積が200平方メートル以下の部分（約60坪）の面積の当該年度の評価額に6分の1を掛けて、課税標準額を算出して、それに1・4%を掛けたものが当年度の固定資産税となる。200平方メートルを超えたものについては、評価額に3分の1を掛け、それに1・4%を掛けた額が当年度の固定資産税となる。昭和48年にこの法律が施行されたが151人の課税誤りが判明した（旧紀宝62人、旧鵜殿が89人）。固定資産税が高くなれば国民健康保険税の資産割も高くなる。（旧紀宝32人、旧鵜殿43人）この取り過ぎた税金をどう返すかである。9月10日の総務財政委員会において、紀宝町固定資産税等に係る過誤納返還取扱要綱（案）が説明されました。1条（目的）で「納税者の不利益を救済し、行政に対する信頼を確保することを目的とする」とうたっ

ていますが、5条で、「還付

不納金の算定は、固定資産課税台帳等の保存年限10年の範囲において行うものとする」と規定しています。明らかな

矛盾である。厚生省は年金に

ついて、誤りを調査して支給

することを省を挙げて対応し

ているときに、10年では納税

者は納得しない。領収書を持

ち、証明ができる分について

は、48年度までさかのぼって

返還すべきだと私は主張しま

した。町長は15日の全員協議

会まで時間をいただきたいと

発言しました。22年度一般会

計補正予算で過誤納還付金返

納金、5161万9千円、国民

健康保険特別会計補正予算

円、最低額は3千円です。

議員

過誤納金返還については、29市町の返還方法は異なります。5年しか返さない。10年返す。証明しないと返さない。今回の紀宝町の返還方法は県下一の方法だと私は思います。納め過ぎたものは返す。納めなければならぬものは納めていただく。納税意識の啓発に努力されることを希望して一般質問を終わります。

担当課長

十分精査いたしました。増えることはないと思っています。

議員

返還金の最高額と最低額は

いくらか。

最高額は255万6263



平野 美津子 議員

- ・子育て支援計画について
- ・男女共同参画について
- ・旧紀宝町5千円、旧鶴殿村8千円と差をつけた高齢者祝い金について

子育て支援計画

議員

小学校卒業までの医療費の無料化は実現しました。これは、評価すべきであると思います。今後の子育て支援対策を明確にしてください。

担当課長

子育て家庭を支援するための「後期次世代育成支援行動計画」平成22年度～26年度までの5カ年計画を策定しております。22年度は、保育サービスの充実として「飯盛保育所建て替え工事」、「後期次世代育成支援行動計画のダイジ

エスト版」の発行、23年度は、「井田保育所建て替え工事」計画、24年度は、「少子対策・子育て支援総合ガイドブック」の改定、25年度までには、「幼稚園・保育所から、入学に至るまでの情報を共有できるようなシステム体制の構築」と「地域の担い手（支援者）の養成」づくり、26年度までには、ファミリー・サポート・センター事業の開始を考えています。

議員

飯盛保育所が完成し0歳児も保育できるハード面の準備ができたので、安心して紀宝町に住める優しい町にするためには、0歳児を保育できる保育所づくりが必要ではないか。保育指針の対象になっていますね。

担当課長

対象年齢につきましては、当然0歳児も含めてということになっています。

議員

保育指針の対象年齢は0歳児からとうたわれています。とくに別の施策で枠外で要望しているのなら町長の考えでやられても構わないけれども、保育指針にうたわれている

ます。一生懸命子育て支援を行なうのであれば、0歳児を措置児童として認めなければならぬときは、他の市町に頼むのではなく、しっかりとこの町で保育していくことが必要です。環境整備もでき、あとは人の配置や準備だけです。実施時期を明確にし、それに向かって準備してください。

町長

私は自分なりの思いの中で、子育て支援体制を充実させる中で今後検討したい。

議員

町長は自分なりのとおっしゃいますけれども公的な立場です。保育指針に照らして行なってほしい。飯盛保育所も0歳児対応しています。あとはソフト面だけです。早急に実施できます。どのように考えますか。

町長

先ほどの答弁のとおりです。

男女共同参画

議員

今年度の職員の採用は7名で、女性が1名でした。応募

者はどのような割合でしたか。

担当理事

一般事務職において、受験者が22名、内訳は男性19名、女性3名。採用は6名、内訳は男性5名、女性1名でした。技術職（土木）においては、受験者が3名、内訳は男性が3名、女性がなし。採用は男性が1名となっています。

議員

男女の採用について、どのように考えられていますか。

担当理事

就職において特殊な場合を除き男女の差別はできません。紀宝町役場としましては男女が共に働き、共に勤務していける職種ばかりだと思えますので、募集時に性別は一切明記せずに採用試験を行っています。

議員

管理職の男女の割合を教えてください。

担当理事

全職員数126名となっております。管理職20名、男女の内訳は、男性18名、女性2名となっております。理事級5名（男性5名）、課長級8



新・飯盛保育所

名（男性8名）、参事級7名（男性5名、女性2名）となっております。

議員

管理職をどのように育ていく計画ですか。

町長

職務の執行状況、まじめさ、誠実さ、住民への対応能力等々、踏まえて検討するなかで、当然それにふさわしい人を、私は任命していきたいと思っております。

高齢者祝い金

議員

6月議会の私の質問に対して「差額を支給しない」ということですね。ああそうですか。なるほどいい発想ですね。十分検討させていただき

ます」と回答されました。3千円の問題ではなく、80歳以上の方に対してすごく嫌な思いをさせていることを何とか修復したいと思います。最初は、旧紀宝町のお年寄りにはない「祝い金を5千円いただいて喜びました。でも、いろいろ考えてみて、差をつけたという悔しい思いをしています」というお話を聞きました。6月に質問したとき「あなたがいつまでも言っているから解消しないんだ」とおっしゃいましたけれど、そんな問題ではなく、3千円をきちんと支給して「ごめんなさい」と言うことで、少しは思いを受け取ってもらえると思います。

町長

悔しい思いをさせてしまったことについては、大変申し訳なく思っております。これからは十分反省をしながら、町民皆さま方の融和を図れるように努力をしてまいりたいと思いますし、両町村が合併

したことによって、いろんな状況があるということも、少しでもご理解いただければ大変ありがたいと思います。

PF Iの 合併浄化槽事業

議員

当初計画では3600基22億円の事業であった。地元がその恩恵を受けていないことに問題があります。今後の対策として、このような状態が続いていくようでは解約ということも考えられるのですか。

担当課長

解約まで考えていません。

町長

地元業者にはプロポーザルの中に参画し提案いただいております。入札の結果、地元業者には事業を実施する状況に至らなかったということで、大変残念に思っております。地元業者には協力をいただいて、この下水道会社と共にやっていただきたいと常に申し上げてきております。しかし、なかなか一緒になっ

て取り組まができていない状況です。町が公共施設等々、モデル事業の中で1億円近い事業を展開させていただき

議員

した。その中で各施設の流入管等の工事について、地元水道業者さんの指名もさせていただき、事業にも参画をさせていただいております。

町長選挙

議員

イギリスのPFI事業が破綻しそうになっているのを目の当たりにしていますので、交付金や補助金は、PFI事業にしくなくても公設公営で実施すれば受けられます。

担当理事

投票用紙を入れた封筒の数、実際はいくつあったのですか。有効投票の投票用紙は封筒5枚、無効投票の投票用紙は封筒1枚、計6枚の封筒に封入させていただき、保管させていただいております。

※この他に、公債費と歳入・財政規模、生活排水対策について質問がありました。



平成22年第3回定例会

◎次回定例会の予定

12月14日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

◎議会中継について

議会の活動を早期に情報提供し、町民の議会への関心を高めるため、公共施設5カ所のロビー等において、町議会本会議の様様を生中継で放映していますのでぜひご覧ください。

放映公共施設

- ① 役場本庁舎
- ② 生涯学習センターまなびの郷
- ③ 福祉センター（鶴殿）
- ④ 保健センター（神内）
- ⑤ 相野谷診療所

※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

可決された議案

- 平成22年度一般会計補正予算（第2号）
- 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成22年度老人保健特別会計補正予算（第1号）
- 平成22年度診療所事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成21年度決算の認定

- ・ 一般会計歳入歳出決算
- ・ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ・ 老人保健特別会計歳入歳出決算
- ・ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ・ 診療所事業特別会計歳入歳出決算
- ・ 井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
- ・ 町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- ・ 水道事業特別会計決算
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- ・ 人権擁護委員に大岡春雄さん（鶴殿）を推薦することに同意しました。

意見書

- 「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書
- 「30人学級を柱にした新たな『教職員定数改善計画』策定と教育予算拡充」を求める意見書
- 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書

編集後記

町民の皆さま方には平素から町議会に對しまして、暖かいご指導ご支援をいただき誠にありがとうございます。

紀宝町議会においても、議会の広報機能を充実し、より開かれた議会を目指して9月定例会より、議会中継が開始され、役場本庁舎等5カ所のロビー等でご覧いただけます。

去る10月20日の豪雨により奄美大島では、3人が死亡する大変な被害が起こりました。亡くなられた方々のご冥福と島民皆さま方的一天も早い復興を心からお祈りいたします。孤立状態となった奄美大島では、情報伝達と近隣同士の助け合いがいかに大切かを改めて知らされたところでございます。

紀宝町においても、行政と議会が両輪となり、町民皆さま方と共に安心・安全で住みよい愛情のある町づくりに取り組んでいきましょう。

（文責 大石）

「議会だより」（第18号）

編集委員 大石 洋
阪本 守央 矢熊 達雄